

6 第50回国民体育大会開催準備の推進

昭和70年に本県で開催される第50回国民体育大会の開催準備の企画、立案等について専門的に取り組む組織として、4月1日教育庁保健体育課内に国体準備室を設置した。

6月19日に第50回国民体育大会福島県準備委員会第2回総会を開催し、会場の選定、開催準備総合計画の策定等本年度の事業計画及び予算を決定するとともに、引き続き開催した第2回常任委員会において、総務専門委員会の設置、実施予定競技の選択、競技会場地希望調査要項等を決定し、全市町村及び各競技団体に会場地希望調査を実施した。

その結果、10市24町7村あわせて41市町村から開催希望が出されたが、これらの希望には一部の競技への偏りがみられ、また、多くの競技団体は都市部での開催を望んでいるなど、各種の競合がみられる。

62年2月16日に第1回総務専門委員会を開催し、会場地選定要領を作成するなど会場地選定の今後の進め方等について審議した。

さらに、3月18日には、第3回常任委員会を開催し、国体開催基本構想及び国体開催準備年次計画からなる第50回国民体育大会開催準備総合計画を審議決定した。

7 体育施設の整備

県民の体育・スポーツの振興を図るため、県営体育施設については、スキーセンター塗装工事を実施するとともに、荻野漕艇場の浮桟橋及びスタートライン支柱工事並びにシングルスカル艇10艇を更新するなどの整備を図った。

また、県立学校については、国庫補助事業により、プール及び柔剣道場をそれぞれ1か所整備した。

市町村の体育施設については、国庫補助事業により、学校体育施設として、小・中学校プール11か所、水泳プール上屋1か所、中学校柔剣道場3か所、学校体育施設開放諸施設5か所並びに社会体育施設として、体育館2か所、運動場2か所、コート2か所、附属施設1か所、照明施設7か所、陸上競技場改修1か所の整備が図られた。

第2節 保健体育関係表彰

体育・保健・安全・給食の各分野で、特に、功績のあった方々及び団体が、文部大臣・各関係団体等からそれぞれ表彰を受けた。

受賞者及び受賞団体は、次のとおりである。

1 体育関係

(1) 文部大臣

① 体育功労者賞

氏名・住所	役職名
高橋宏次 (福島市)	福島県銃剣道連盟理事長 (社)全日本銃剣道連盟評議員 (財)福島県体育協会評議員 福島市体育協会理事

② 社会体育優良団体賞

団体名	代表者・住所
双葉町野球クラブ	渡辺功元(双葉町)
原町市軟式庭球協会	但野明(原町市)

(2) 財団法人福島県体育協会

① スポーツ功労賞(個人)

氏名	所属(住所)
関茂	県銃剣道連盟(須賀川市)
高橋邦二	県体操協会(郡山市)
広木謙	県サッカー協会(会津若松市)
三浦勝美	県卓球協会(二本松市)
矢野浩一	県野球連盟(いわき市) いわき市体育協会
藤田利雄	県剣道連盟(福島市)
鈴木運平	県弓道連盟(郡山市)
遠藤勝治	県陸上競技協会(大玉村)
園谷裕一	いわき市体育協会(いわき市)
横山光雄	県体育協会(鹿島町) 相双地域連合会
須藤輝雄	県中学校体育連盟(郡山市)

② 優秀指導者賞

氏名	競技種目(住所)
菊地司	スケート(郡山市)

③ 優秀選手賞(個人)

氏名	競技種目(所属)
斎藤安弘	ボクシング(磐城農業高校)
三浦賢司	水泳(日大東北高校)
五十嵐芳弘	クレイ射撃(五十嵐石材KK)
伊藤恵美子	卓球(千本松毛晒KK)
渡部めぐみ	陸上競技(大槻中学校)
五十嵐幸一	〃(会津高校)
紺野浩	〃(日大東北高校)
小野富美子	〃(東京女子体育大)
安達敏雄	〃(松下電器産業KK)
三浦武彦	〃(順天堂大)
三瓶博昭	〃(福島高校)
嶋原浩信	〃(安達高校)